

用 地 係

国土交通省が発表した地価公示によると、年間における市内の標準値の地価変動率は、平均 2.6 パーセントの上昇に転じた。

これは、平成 17 年度末に、日本銀行が量的金融緩和と政策解除に踏み切るなど、日本経済が大企業を中心に景気回復の兆しが見られる状況にあり、全体として穏やかに改善・回復に推移していると判断され、土地取引も少しずつ活発となっている結果と思われる。

特に、住宅用地については、金利・税制の両面から住宅取得の促進が図られているため、取引自体は活発になってきている。公共事業を円滑に推進していくためには、その事業に必要な用地を迅速かつ確実に取得していかなければならないが、地価は、この数年間下落を続けたとはいえ依然として高値であるため、まだ積極的に土地を売る気配はなく、たとえ公共事業であっても土地所有者にメリットがない場合は、協力を得るのに困難な状況にある。

このような情勢の中で、本年度は、都市計画道路 3・4・31 号線（柳通り）整備事業用地、市道第 30 号線拡幅改良事業用地、市道第 221 号線（ほたる坂）法面防護事業用地のほか狭あい道路用地を取得した。

名 称	買 収 用 地				物 件 等 補 償		備 考
	所有者数	筆数	面積 (㎡)	金額 (円)	所有者数	金額 (円)	
都計計画道路3・4・31号線整備事業	1	1	65.66	13,527,983	1	27,440,938	公社から買戻し
市道第 30 号線拡幅改良整備事業	2	4	115.53	20,872,700	2	2,080,781	歩道設置整備事業
市道第 221 号線法面防護事業	1	3	439.61	16,705,180			法面防護事業用地取得
市道第 200 号線拡幅整備事業	1	1	13.10	314,400	1	1,183,923	市道改良事業(狭あい道路分)
市道第 1061 号線拡幅整備事業	2	2	18.86	640,560			〃
市道第 1189 号線拡幅整備事業	1	1	9.14	438,720	1	161,765	〃
市道第 1002 号線拡幅整備事業	2	2	3.96	95,040			〃
市道第 1185 号線拡幅整備事業	1	3	79.21	1,901,040			〃
市道第 265 号線拡幅整備事業	1	1	30.44	1,681,120	1	1,287,871	〃
市道第 163 号線拡幅整備事業					1	2,127,955	〃
市道第 1141 号線拡幅整備事業	1	1	21.07	892,080	1	414,487	〃
市道第 1181 号線拡幅整備事業	1	1	6.73	323,040	1	4,851	〃
市道第 228・230 号線拡幅整備事業	1	1	9.46	545,800	1	459,637	〃
市道第 1042 号線拡幅整備事業	1	1	10.21	245,040			〃
市道幹線Ⅱ-3 号線道路整備事業	1	1	125.00	2,000,000			〃
合 計	17	23	947.98	60,182,703	10	35,162,208	